

# 特集

## 中学生が 藤樹先生を学ぶ

湖西中「ふるさとウォーク」から

広報委員 三田村治夫

湖西中学校では一年生が、去る十一月十二日に、『市内の史跡や藤樹先生に関わる所などを歩いて訪ね、郷土の歴史や偉人について理解を深めるとともに、仲間と励まし合いながら、約十二kmを踏破できる行動力を養う』をねらいに、「ふるさとウォーク」にのぞみました。総合的な学習として行われ、事前・事後の学習も含め、道徳「SDGs」(持続可能な開発目標)と中江藤樹等も加えて、教科等を横断した全十七時間の学習でした。中でも、最終時に実施された道徳「中江藤樹の『孝』とSDGs」の授業は、現代的な課題の学習に藤樹先生の教えを生かされているもので、新たな取り組みとして注目されます。

さらに、ウォーク当日には、同行(一緒に歩く)、交差点での立哨、各見学地での講話、ゴール地点(湖西中グラウンド)での焼き芋等による出迎えなど、多くの保護者や当校を支援する「むくげの花の会」会員をはじめ地域の方々による協力・支援がありました。

この魅力ある一連の学習について、湖西中学校から資料をご提供いただき、以下に紹介します。



大溝城から、鴨稻荷山古墳に向けて歩く

### ① 指導計画の概要

#### 【事前学習】

- ① 「高島の歴史を学ぼう」(総合)
- ② 「高島の歴史の理解を深めよう」(情報収集活動・総合)
- ③ 『SDGs』って何?」(道徳)
- ④ ⑤⑥ 「ワールドカフェ」(調べたことをプレゼンで交流・総合)

#### ⑦ 「中江藤樹について知ろう」(道徳)

#### 【体験学習】

- ⑧ ⑭ 「ふるさとウォーク」(総合)

#### 【事後学習】

- ⑮ ⑰ 「新聞を作ろう」(総合)
- ⑱ 「中江藤樹の『孝』とSDGs」(道徳)

### ② 「ふるさとウォーク」当日の概要

- 実施日 十一月十二日(木)
- 行程

湖西中↓(市のバス) ↓白鬚神社  
 白鬚神社(講義1・見学) ↓徒歩  
 四十八体仏(見学) ↓  
 乙女が池(散策・見学) ↓  
 大溝城跡(講義2・見学) ↓  
 近藤重蔵蟄居地跡(見学) ↓  
 鴨稻荷山古墳(講義3・見学) ↓  
 藤樹神社(昼食)  
 藤樹書院(講義4・見学)  
 藤樹記念館(講義5・見学) ↓  
 湖西中到着

### ③ 「新聞」(まとめ)の紹介

「新聞」五作品のそれぞれから、藤樹先生に関する部分を抜粋し、ご紹介いたします。

← ← ← ← ← ←

### 「ふるさと新聞」

一年 古田 琉美菜

#### 藤樹先生の教え

近江国(滋賀県)で生まれた中江藤樹先生は、郷土の人や藤樹書院に集まってくる人々と共に、人として大切な道を選び、その道を実行し、近江聖人とたたえられた。今から藤樹先生の教えを紹介します。

#### ① 致良知(ちりようち)

人は、だれでも「良知」という美しい心を持って生まれている。しかし、生きているうちにいろいろな欲望が起きてしまうことがある。だから、

ら、自分の欲望に打ちかかって、良知に従い行いを正しくするよう日々努力することが大切。

#### ② 孝行(こうこう)

私たちの心や体は、親からうけたもので、その親の心や体は、先祖からうけつがれたものである。その先祖は、大自然から授かった。孝行とは、父母を大切にし、先祖を尊び、大自然を敬うことである。

そのためには自分の良知をみがき、体を健康にし、行いを正しくし、家族などの人々と親しみ合うことが大切。

#### ③ 知行合一(ちこうごういつ)

人々は、学ぶことによつて人として行われなければならない道を知ることが出来る。しかし、それを行わなければならない。本当に知ったことにはならない。だから、学んだことは実行しないといけない。

#### ④ 五事を正す(ごじをただす)

五事とは、「貌、言、視、聴、思」を言い、それを正すことは、なごやかな顔つきをし、思いやりのある言葉で話しかけ、澄んだ目でものごとを見つめ、耳をかたむけて人の話を聞き、まごころをこめて相手のことを思うこと。

藤樹先生は、四十一歳で亡くなった。でも、その後も藤樹先生の教えは人々の心に残った。